

議 長
確認印

議会運営委員会会議録

1 日 時	開会 令和5年9月13日 16:20 (本会議終了後) 閉会 令和5年9月13日 16:40
2 場 所	委員会室
3 出席委員	鈴木 茂、吉田克則、青砥與藏、下重義人、七宮広樹
4 欠席委員	なし
5 出席要求者	副議長
6 職務出席者	議長、事務局長、書記
7 付議事件	第1 令和5年第3回埴町議会定例会の検証について 第2 その他
8 議事の経過	<p>吉田克則副委員長による開会 鈴木茂委員長によるあいさつ 第1 令和5年第3回埴町議会定例会の検証について 委員長：意見あるか。 七宮委員：自分の一般質問だが、質問を全てやりきれなかった。時間の配分や質問の数が多かった。逆に早く終わってしまう議員もいたので、時間の配分を改めてお互いに気を付けたい。傍聴席で携帯電話が鳴っている方がいた。傍聴席入口に禁止事項の表示をした方がよい。予算決算常任委員会の質疑通告書だが、通告書の記載の仕方について、質問をスムーズにできるように工夫した方がよいと感じた。課ごととかにまとめるなど。 副委員長：今まで傍聴ゼロが多かったが、今回傍聴者がいたのはよかった。 予算決算常任委員会の時間だが、お昼をまたいでしまった。区切りがよくなかった。質問事項が多かったのでやむを得ないと思うが、今回の反省点である。 青砥委員：やむを得ないことである。審議がつくさなければ意味がない 委員長：まとめると、一般質問について、時間の徹底と質問の量に問題があるのでないか。予算決算常任委員会の質疑通告書の書き方を工夫する必要があるということ。 副委員長：傍聴者アンケート結果を町側に伝えるべきかどうか。せっかくアンケートを提出していただいて、そのままにしてよいものか。 議長：総務課長に言えばよいのではないか。 委員長：今回、町長答弁について、課長に話を振るのが多かった。ある程度は町長が答弁すべきと思う。 青砥委員：数字的なものはともかく、ある程度の内容は町長が答弁すべき。 委員長：今回かなり際立っていた。質問議員によっては、ほとんど課長の説明だけで終わっていた。その点も総務課長へ事務局から伝えてほしい。 七宮委員：議員の質問について、監査委員なので知り得た情報が質問につながっていった場合、それは監査としていかなるものか。役場職員に関する質問を今回していたが、それは違う形でやっていただきたい。守秘義務の観点から。</p>

議長：今回、傍聴で帽子を着用している方がいた。途中から入室してきたため指摘するのが難しかった。傍聴席入口に表示が必要。

（事務局長が表示はしていることを説明）

副委員長：なお再確認してほしい。

傍聴者だが、実際に来た方はもっといたはずだが。

委員長：アンケートの数字は記入・提出した方の数である。

副委員長：傍聴者人数は把握しているのか。

（書記が人数は把握していることと、町村議会議長会の調査に毎年回答していること説明）

青砥委員：決算認定だが、実績資料の項目が抜けているのがある。意図的にやられているのか。

副委員長：実績資料の掲載もれについては、何か処置するようなことはあるのか。

（事務局長が、実績資料は主なものを掲載していることを説明）

副委員長：町へ申し入れをしておいてほしい。

委員長：他ないので終了する。

副委員長閉会

埴町議会委員会条例の第 27 条の規定により署名する。

令和 年 月 日

議会運営委員長